



▲春のわさび田

新名称決定！たくさんのご応募ありがとうございました。

あづみへず

通信 第8号

●年2回 半期毎の再生協の主なニュースなどを掲載します。(10月・3月発行)

発行元
問合せ先

安曇野市農業再生協議会事務局 (安曇野市農林部農政課内)

TEL 0263-71-2000/FAX 71-2507
ホームページアドレス <http://azumi-nou.com/>



▲出店状況

販売促進事業

●松本山雅FCホームゲームへの出店

安曇野市農業再生協議会では、松本山雅FCのホームゲームに松本平広域公園総合球技場（アルウィン）で「菜園あづみ野」として出店を行い、市内直売所の加工品等を販売しております。これは、県内外に安曇野の農産物、加工品、直売所をPRすることを目的として、松本山雅FCがJ2に昇格した二〇一二年シーズンから行っております。

二〇一四年シーズンは、二十一試

合に出店し、これまでで最も多い約二四〇万円の売上となりました。販売内容については、おやきや五平餅などの加工品のみならず、りんご等の農産物や信州サーモンを使用したコロッケなど昨年よりも多様な品物を販売しました。また、六月二十一日の松本山雅FC対ザスパクサツ群馬戦は、ホームタウン安曇野市デーとして開催され、直売所クーポンや安曇野産コシヒカリを使用したおにぎりをサポーターに配布しました。これらの事業により、ホームゲームを観戦に来られる幅広い年代の方々に対して、安曇野市の農産物の知名度を上げることができたと思えます。



▲安曇野市デー（おにぎり配布）の様子



▲アルウィンの様子

さて、昨シーズン、松本山雅FCはJ2において二位という成績を収め、J1への昇格を決めました。今シーズンはこれまで以上に県内外から多くのサポーターがアルウィンを訪れることが予想されます。当事業も、さらなる成果が期待されることから継続して実施いたします。これまででは安曇野の味を知っていたために、販売を主体的に行っていたりしましたが、今後は、情報発信や市内直売所への誘導もあわせて積極的に行っていきたいと考えております。

ぜひ、皆様も松本山雅FCホームゲームでアルウィンを訪れた際には、「菜園あづみ野（バックスタンド付近）」にお越しください。

生産振興事業

●環境保全型農業を実践しませんか

農業者等が実施する化学肥料、化学合成農薬を原則五割以上低減する取り組みとあわせて、地球温暖化防止や生物多様性保全効果の高い営農活動に取り組み場合に国、県、市から交付金を受けられます。

■対象となる取り組み例

- 化学肥料・化学合成農薬を五割低減した上で、前後に緑肥の作付けや堆肥を施用する取り組み
- 化学肥料・化学合成農薬を全く使用しない取り組み



▲緑肥の作付



▲堆肥の施用

■交付金単価

- 緑肥の作付け 八、〇〇〇円／十アール
- 堆肥の施用（条件有り） 四、四〇〇円／十アール
- 有機農業 八、〇〇〇円／十アール

※ただし、そば等雑穀及び飼料作物は交付金の対象とはなりません。

※詳細な支援要件については、市農政課生産振興担当へお問い合わせください。



▲有機農業

●農薬飛散に注意しましょう！

飛散の影響をできるだけ少なくするためには散布量が多くなりすぎないように気をつけましょう。

風の弱いときを選び、風向きに気をつけて散布しましょう。

↓風下に別の作物があるときは特に注意しましょう。

○散布の方向や位置に気をつけて散布しましょう。↓できるだけ作物の近くから散布したい作物だけにかかるよう心がけましょう。

■農薬を散布した必ず記帳するようにしましょう

農薬などの使用状況を適切に記帳すると、農薬などの生産資材を適正に使用していることが確認でき、販売先や消費者の信頼を確保するために有効です。

○万一、残留基準を超過した場合にも、問題のロットを特定し、残留分析を最小限におさえられます。○収穫後、農業改良普及センターやJAなどと相談しつつ、次期作以降の改善方法を検討する上で活用するなど、多くのメリットがあります。

※農薬飛散低減型ノズルへの変更も飛散防止の有効策です。



▲慣行ノズル



▲農薬飛散低減型ノズル

●実績報告書のHP掲載について(ご案内)

当協議会では、各種事業の検証結果等を実績報告書としてまとめ、毎年度末に市内の農家向けに実績報告会を実施しております。平成二十二年度に実施以降、今年で五年目を迎えました。実績報告の内容は、

当協議会ホームページ「あづみ農」で掲載しております。



▲平成 26 年度 事業実績報告書

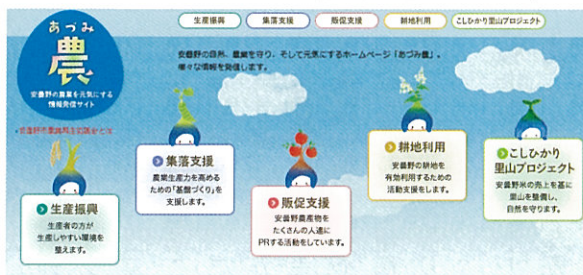
技術的検証では、「米穀類」「果樹」「そ菜」「花き」「畜産」等に分類されておりますので、関連する検証結果をご覧ください。

その他、「集落支援事業」や「販売促進事業」等の内容もあります。二十六年度事業につきましては、三月二十日に実績報告会を開催し、六月からホームページで閲覧可能となっております。どうぞご利用頂きますようお願いいたします。

アクセス先

あづみ農（ホームページアドレス）

<http://azumi-nou.com/>



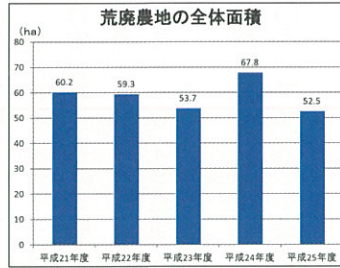
▲当協議会ホームページ「あづみ農」

集落支援事業

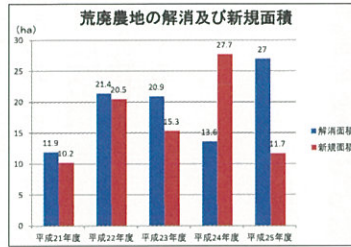
● 荒廃農地解消就農者支援金

■ 安曇野市の荒廃農地の状況

平成二十二年度から平成二十五年度の安曇野市の荒廃農地の状況は、図表①及び②のとおりです。荒廃農地は通減傾向にあり解消も進んでいるといえますが、今後も解消に向け注力していく必要がありますので、御協力をお願いいたします。



図表①



図表②

■ 荒廃農地解消就農者支援金とは

平成二十六年に、荒廃農地の解消を行う者を継続的に支援することを目的に、市が創設した事業です。

■ 平成二十七年度から

支援金交付対象者の範囲を拡大します

平成二十六年度までは、認定農業者による解消を交付対象としていましたが、一般の農業者も対象となります。

■ 交付要件

○ 交付決定日から起算して原則として三十アール以上の荒廃農地を三年以内に解消すること。

農作物を有害鳥獣から守ろう!

農作物を有害鳥獣から守るため、個人で設置・購入する侵入防止柵の設置に係る資材購入費、侵入防止装置の購入費への助成を行っています。

有害鳥獣から大切な農地を守るため、未然の被害防止に努めましょう!!



1 助成の内容は…?

野生鳥獣被害防止対策補助

対象事業	補助率	限度額
侵入防止柵（電気柵、金網柵及びネット柵）の設置に係る資材購入費	1/2 以内	100,000 円 ※ 1
侵入防止装置（電子防鳥機、大型回転体による防鳥機及び音波による鳥獣駆逐装置 ※ 2）の購入費	1/3 以内	80,000 円

※ 1 隣接した複数の耕作者が共同で柵を設置する場合は、柵を設置する耕作者に当該限度額を乗じた額を上限とします。

※ 2 安曇野市農業再生協議会の検証により効果が認められたものに限りま。



2 助成対象の侵入防止装置を教えてください

効果が認められた以下の4機種が対象装置です。

- ① 電子防鳥機（バードガード / 鳥害対策）
ギーギーと鳥の警戒する時の音を定期的に鳴らして、周囲の鳥を近寄らせない装置です。
- ② 大型回転体（トリック / 鳥害対策）
上空で大型プロペラが回転し、鳥害から農作物を守る装置です。近隣への騒音の心配も少なく多くの農家で使用が増えています。
- ③・④ 鳥獣駆逐装置（ガドリオン / 鳥害対策、パリアートン / 獣害対策）
超音波を発生し、農地へ鳥獣類を近づけないようにする装置です。



3 詳しいことを知りたいけど…?

事務局：市農政課集落支援担当までお問い合わせください。

■ 用語の説明

○ 農業者 農業委員会委員選挙人名簿に登録されている市内に住所を有する者をいう。

○ 荒廃農地 現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地で

■ 支援金の額等

○ 所得が五百万円未満であること。
総額百万円を二十万円ずつ五年間に分けて交付します。なお、支援金の交付は、一世帯につき一回限りです。

■ 申請方法

荒廃農地の解消計画を具体的に記載した交付申請書の提出が必要になります。荒廃農地の情報等、詳しくは農政課集落支援担当までお問い合わせください。

あつて、国の荒廃農地の発生・解消状況に関する調査要領の規定に基づく調査において、市が荒廃農地と判定した農地をいう。

○ 荒廃農地の解消 荒廃農地が農作物の栽培ができる状態となり、かつ、現に農作物が作付けされた状態をいう。

販売促進事業

●「あづみくず」新キャラデビュー！

安曇野の農産物応援キャラクター「あづみくず」に「みずん」が加わりました。「みずん」は安曇野の豊かな水から生まれた妖精で、頭には様々な農産物が育つ新芽が生えています。「みずん」を仲間に加え、より幅広く安曇野の農産物をPRしていきます。これからも「あづみくず」の仲間たちが、安曇野の農業を元気にできるよう頑張っていきますので応援よろしくお願ひします。



みずん

農産物を応援する妖精「あづみくず」のグッズは安曇野市観光情報センター（安曇野市穂高駅前 八二一九三六三）で好評発売中です！

- ストラップ2種類（あぶふくる・らいすん） 各四〇〇円
- バッジ（5種類） 各一五〇円
- クリアファイル（2枚組） 一五〇円

あづみの農産物を応援する妖精
あづみくず



▲「あづみくず」のグッズ各種

●安曇野市農業まつり珍評会

参加者募集！

安曇野市農業再生協議会では、今年も十一月に穂高神社で行われる「新そばと食の感謝祭」にあわせ「安曇野市農林業まつり」を開催いたします。今回は、珍しい農産物を集めた珍評会（品評会）を開催する予定です。特大サイズや、変わった形状など、珍しい農産物を募集します。そこで、十一月中旬に出荷できる作物で珍しい農産物の出品をお願いします。

また、十一月までは品質が持たないという場合は、その農産物と収穫者が一緒に写った写真を用意しておいて下さい。



▲珍トマト



▲特大サツマイモ（写真提供：市民タイムス）

農林業まつり当日に、珍評会特設コーナーを設け、多くの方に観覧して頂こうと思ひます。是非、市民のご参加をよろしくお願ひします。

詳細につきましては、次号（十月一日発行）でお知らせします。

生産振興事業

●農業技術アドバイザー制度

が人気です

平成二十六年度も昨年度に引き続き延べ一、〇〇〇件弱のご利用がありました。相談内容としては、病害虫や雑草の防除に関わる相談が多く、この時期には何を植えたらよいか、どのような管理をしたらよいかなども寄せられています。この制度は農産物出荷農家に限らず、家庭菜園でもご利用頂けますのでお気軽にご利用ください。

一部メンバーが変更になりました。引き続きよろしくお願いします。



川上辰昇さん 山本幹雄さん 山田清二さん 山田照実さん
080-8810-0040 携帯 080-8810-0039 携帯 080-8810-0038 携帯 080-8810-0037 携帯

■ご利用方法

各アドバイザーに直接お電話でお問い合わせください（時間帯への配慮をお願いいたします）。

■アドバイザー制度のお問い合わせ先
市農林部農政課 ☎ 71-2428（内線 2655）

名称募集 結果発表

前号にて、「安曇野市農業再生協議会だより」の新しい名称を皆さまから募集し、応募作品について審査しました。その結果、本広報紙名称は「あづみくず通信」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました！新しくなった「あづみくず通信」を、今後ともよろしくお願ひいたします。